

1. 研修スケジュール

2014年	6～7月	講義（東京・日本財団ビル）
	8～10月	実習（東京・静岡他）
	11～12月	起業計画立案（東京・日本財団ビルおよび各受講者の地元）
2015年	1月	起業計画発表・修了式（東京・日本財団ビル）

2. 受講者リスト

※受講条件：

10年程度の臨床経験をもつ看護師（訪問看護、在宅看護経験もしくは類似業務の経験及び管理業務経験があれば望ましい）で、研修終了後、概ね一年以内の起業を意図すること

No	性別	年代	起業予定地域	主な職歴
1	女性	50代	選定中	総合病院、医療系企業、診療所勤務他
2	女性	50代	選定中	総合病院、訪問看護ステーション勤務
3	女性	40代	福島県会津若松市	総合病院勤務
4	女性	40代	神奈川県横浜市	総合病院勤務、訪問看護ステーション管理者他
5	女性	50代	東京都荒川区	総合病院勤務、看護大学講師他
6	男性	40代	愛知県小牧市	小児病院勤務、看護学校教務部主事他
7	女性	40代	東京都	総合病院、訪問看護ステーション勤務
8	女性	60代	神奈川県平塚市	総合病院勤務、訪問看護ステーション管理者他
9	女性	20代	大阪府北摂地域	総合病院勤務他
10	女性	30代	兵庫県但馬地域	総合病院、訪問看護ステーション勤務他
11	女性	50代	大阪府大阪市	診療所勤務、訪問看護ステーション責任者他
12	女性	50代	福岡県田川市郡	総合病院勤務、訪問看護ステーション管理者他
13	女性	50代	福島県福島市	訪問看護ステーション勤務、総合病院看護部長他
14	女性	30代	岡山県	総合病院・診療所勤務、地域連携チーム管理者他
15	女性	30代	東京都目黒区	総合病院勤務
16	女性	50代	新潟県	総合病院勤務他
17	男性	40代	神奈川県横浜市/川崎市	総合病院、高齢者施設勤務他

3. 支援制度

受講者は、受講及び起業の際に、支援制度が利用可能。ただし審査あり。

受講にあたって・・・

奨学金 上限40万円（返還の義務なし）

生活費 上限10万円（月額。転居を伴う場合）

交通費 上限10万円（月額。1カ月の定期代が五万円を超える場合）

起業にあたって・・・

機材整備費 上限150万円

建物改修 日本財団の助成制度に基づく

車両整備 日本財団の助成制度に基づく

※在宅看護センター起業家育成事業の概要→http://www.smhf.or.jp/news_hospice/3818/